

2022/1/31

(オマケの英語教室 Just has come, the asking) 書庫版



「中核イメージを掴むって言って、have が「持つ」で take が「取る」get が「得る」なんて誰でも知っています。そんなものを並べても意味がないと思います。むしろそういった横展開ではなく、それぞれの語が中核イメージを元にどのように縦展開したり派生したりするか具体例を示してほしいです」

という誠にスルドイご指摘が学生さんからございました。

実にうれしい限りです。書けど暮らせど無反応、が今まで殆どでしたから。このコーナー。では早速展開してみましょう。

例えば前記事の最後に出てきた come 「来る」

この中核イメージは「(期待しているものが) 近づいてくる」イメージです。

実際に come closer で「近づく (近寄ってくる)」となります。

そのイメージを保持したまま out、即ち「外に出る」イメージを組み合わせると

Come out で

Sprout comes out なら「発芽する」

Flower comes out なら「開花する」

で

Result comes out なら「結論が出る」

ですし

最近有名になった語で

The Secret comes out で「例の秘密が公表される」

となります。(話題になった語は coming out ですが)

上から「目が地面から出てくるイメージ」「花がつぼみから外に押し開いて出るイメージ」

「結論が数多の議論を経て出てくるイメージ」「隠れていた秘密が闇の中から出てくるイメージ」

となります。

ここで気づかされるのは日本語ではそれぞれに「発芽」「開花」「結論付」「公表」という全く別の訳語が存在するのに英語では come out しか出てこないことです。それですべてをまかなっている。

処が我が国の教育ではそれぞれにきわめて特殊な訳語を無理やりあてたり、come out の意味をずらずらと 10 も 20 も辞書に並べて書いたりするわけです。

「それを覚えろ!!」と言う方が無理というものです。

賢明な読者の方はもうお分かりだと思いますが、この件に関して覚えればいいのかは Come の近づいてくるイメージ。Out の外に出るイメージだけです。後は TPO に応じた派生展開をすればいいだけなのです。邦語訳するときに振り分けて訳せばいいだけで、英訳の時には come out だけで大抵まかなえてしまうのです。

余談)

因みに where did you come from? は「前泊地は何処?」で where are you from? は「ご出身はどちら?」となります。

後の文章の from のイメージは「原因」とか「出自」「大元」を表しています。なので「お生まれはどちら?」という意味になるのです。

又、「3 時に行くわ」

という時に、時折

I'll go there at 3 pm

ではなくて

I'll come at 3 pm

という場合がありますが、これは行く先が「慣れ親しんだ場所」に「行く」様な場合に使われます。イメージとしては「心理的に親しく感じられる場所に近づく」場合でしょうか。

この場合いつもの処で落ち合うのに、相手が go を使うか come を使うかで、相手にとっての質問者の重要度合いがわかる場合もあります。Go だとやや疎遠、come だとやや親密、といった処でしょうか。

なので、相手に無意識に go を使われる様になったら気持ちが載らなくなってきたサインなのかもしれません。